

平成14年度 春期 テクニカルエンジニア(データベース) 午後 解答例

問1

- 設問1 (1) 仕入単価(商品コード, 生産年月, 仕入単価)
 (2) 関係名 - 仕入実績 属性名 - 発注番号

設問2

CREATE ASSERTION 最低発注数量検査

```

CHECK( NOT EXISTS (
    SELECT * FROM 発注, 発注明細, 商品
    WHERE 発注.発注番号 = 発注明細.発注番号 AND
    発注明細.商品コード = 商品.商品コード AND
    発注明細.発注数量 < 商品.最低発注数量 AND
    発注.発注済フラグ = 'N' )
    )
    
```

設問3

(1)

表1の記号	制約チェックの対象になる見込値	業務担当者が修正する見込値		
		販売見込数量	販売見込単価	仕入見込数量
a	販売見込単価			
b	販売見込数量			
c	商品カテゴリ別 販売見込金額			
d	商品カテゴリ別 半期販売見込金額			
e	仕入見込数量			
f	在庫見込月数			
g	商品カテゴリ別 半期見込粗利率			

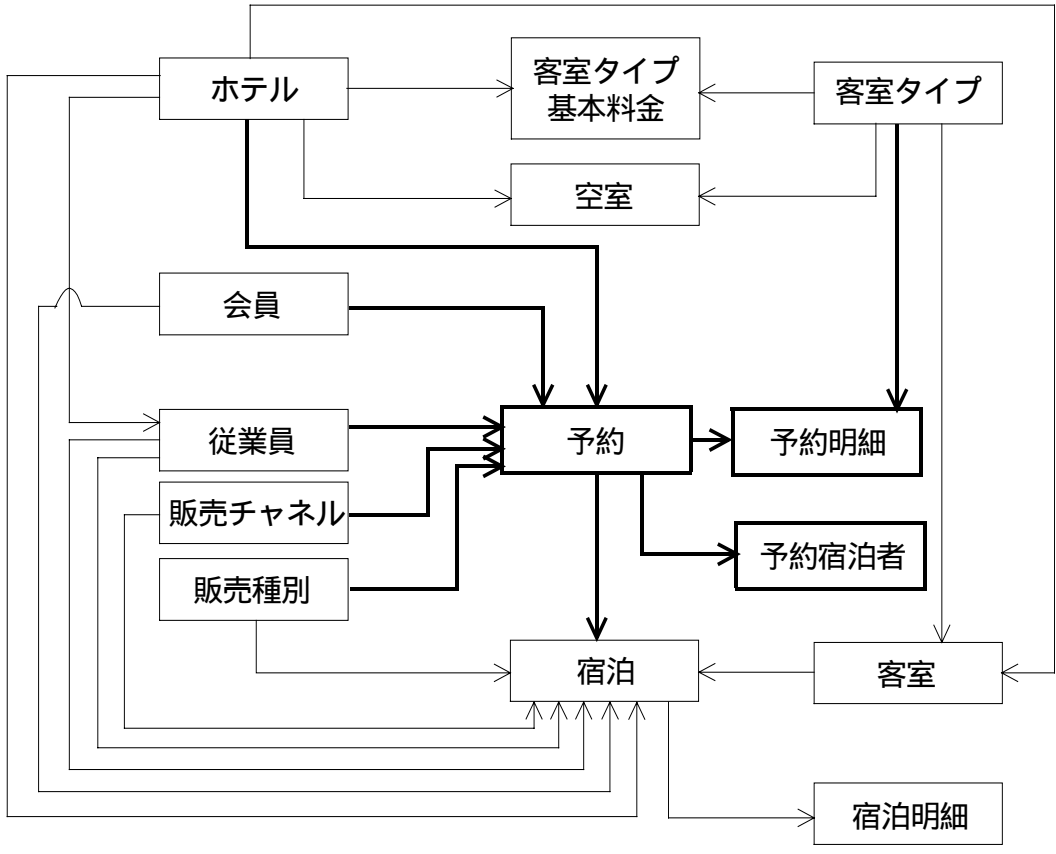
(2) 成約 - a, e

理由 - a, eには、基準や範囲を超えることが業務的に許されない制約があり、制約を超えた場合は、見込値の更新を行わないので、SQLの整合性制約検査でテーブルへの更新を完全に防止するのが適切であると判断できるから(100字)

- 設問4 (1) 販売見込数量等の見込値を変更すると、トリガは毎月の販売見込原価を再計算する。それに連動して商品カテゴリ別半期見込額利益率及び金額も再計算され、最終的に計算されるものとは異なった率が途中で算出されるから(100字)
- (2) トリガ - 表1のdとgをチェックするトリガを削除する(21字)
 ストアドプロシージャ - 表1のdとgをチェックするストアドプロシージャを作成する(29字)
 アプリケーション - 作成したストアドプロシージャをトリガの処理終了後に起動する(30字)

問2

- 設問1 (1) ホテルコード, 年月日, 客室タイプコード, 個人空室数, 団体空室数
- (2)



- (3) 予約（ホテルコード，予約番号，予約年月日，予約担当者コード，チェックイン年月日，チェックアウト年月日，団体個人区分，販売種別コード，販売チャネルコード，予約者カナ氏名，予約者電話番号，予約者住所，予約者会員番号，宿泊者数）
予約明細（ホテルコード，予約番号，客室タイプコード，予約客室数）
予約宿泊者（ホテルコード，予約番号，連番，予約宿泊者カナ氏名）

- 設問 2 (1) 代替客室タイプ（希望客室タイプコード，代替客室タイプコード，組合せ基準，女性専用区分）
(2) 希望客室タイプ予約（ホテルコード，予約番号，希望客室タイプコード，代替客室タイプコード，代替客室数，予約年月日時分）
(3) 取消しが発生した同一ホテルコード、同一希望客室タイプコードを持ち、宿泊期間の全部を通して変更が可能になるものを選択する（59字）
第1キーを組合せ基準である代替客室タイプ a，b の順に、第2キーを予約年月日時分が古いもの順に優先順位を並び替える（56字）

- 設問 3 (1) インターネット個人客室数
インターネット予約レコードを作成する都度、空室テーブルの該当行の個人客室数を減算し、インターネット個人客室数を加算する（59字）
(2) 予約番号，ホテル名，宿泊予定年月日，客室番号，宿泊料金，予約年月日
a - カナ氏名 b - 自宅電話番号 c - 自宅住所
d - 会員番号 e - 予約番号
(3) f - ホテルコードと予約番号 g - インターネット予約 h - 宿泊
i - 差集合演算 j - 会員番号 k - 集計

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。